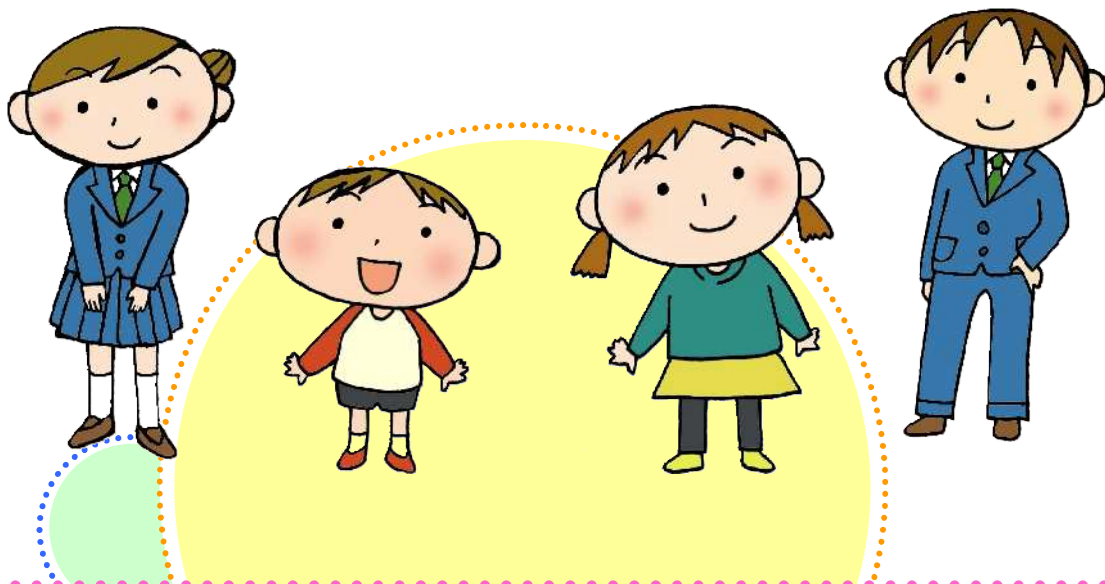


平成26年度

ティーンズミーティングの概要

私たち子どもは、地域のことや人とのつながりについて、こんなことを考えています



平成21年12月に制定した尼崎市子どもの育ち支援条例をもとに、尼崎市が「子どもたち1人ひとりが大切にされて、たくさんの人に支えられて育つまち」になるための取組の一つとして、子ども目線で社会はどう見えているのかなどを知り、市の行政や地域の大人の取組に活かしていくために、平成23年度より「ティーンズミーティング」を開き、小・中学生の思いや考えを聴いています。

平成26年度は、これまでに引き続き、7月上旬～8月下旬に、小・中学校9校で各1回、10人程度のグループをつくり、「つながり」をキーワードに「ティーンズミーティング」を開きました。<小学生(5・6年生)68人、中学生28人に意見を聴きました。>

**子どもたちの思いや考えに耳を傾け、
子どもが健やかに育つために、
何が必要かを考えてみませんか。**

テーマ1「地域の大人力を借りて実現してみたいこと」



小学生の意見

地域の大人力を借りて実現してみたいことってどんなこと？

昔のことが知りたい

- ・ 尼崎市の歴史が知りたい
- ・ 日本の慣わしについて、お年寄りから話を聞きたい
- ・ 昔の遊びが知りたい
- ・ 阪神・淡路大震災について知りたい
- ・ まちにごみが捨てられているので、清掃活動がしたい

仕事の内容が知りたい

- ・ 地域の人と交流がしたい
- ・ 仕事の体験がしたい
- ・ 留学して色々な国の人と交流がしたい、相手の国からも留学しに来て欲しい

どうすれば実現しやすくなると思いますか？

大人

- ・ 昔のことを、子どもに教えたい人が集まる
- ・ 子どもが歴史の話聞く機会を設ける
- ・ 清掃活動をたくさん行う
- ・ 介護施設で、お年寄りと触れ合う機会を設ける
- ・ 子どもがどんな仕事を体験したいか意見を聞き、そこで仕事の体験ができるようにする

大人・子ども

- ・ 大人は仕事があるので、土日などに大人と子どもと一緒に清掃活動をする
- ・ 大人も子どもも回覧板に興味を持ち、一緒に記事を考えることで地域の人と交流する
- ・ 地域の人と交流するために、おじいさんやおばあさんと一緒に本を作る

子ども

- ・ おじいさんやおばあさんに昔話を聞く
- ・ 尼崎市の歴史について調べたり学んだりしたことを、発表会を開いて大人に聞いてもらう
- ・ 市内の歴史に関係のある場所に行く
- ・ 清掃活動に積極的に参加する
- ・ 仕事の体験をするために、自分からボランティアに参加する

行政

- ・ 阪神・淡路大震災について、学校や公民館で講演会を企画する
- ・ ごみ拾いのイベントを実施するという情報が子どもまで届いていないので、周知方法を工夫する
- ・ 出前授業にどんな職業の人を呼ぶのか、先生が考える
- ・ もっと多くの国と姉妹都市になり、色々な国の人と交流ができるようにする

中学生の意見

地域の大人力を借りて実現してみたいことってどんなこと？



仕事の体験がしたい

- ・ トライやる・ウィーク以外にも、仕事の体験ができる機会を設けて欲しい
- ・ トライやる・ウィークで体験できる仕事を、増やして欲しい
- ・ 社会見学の機会を増やして欲しい
- ・ 子どもが企画して、お祭りをしたい

高校生や大学生と交流がしたい

- ・ 自分の成績を比較しやすくして欲しい
- ・ 個人の成績を市内全体で比べられるようにして欲しい
- ・ 学校内で、全国模試を受けられるようにして欲しい
- ・ お祭りなどのイベントに参加したい

どうすれば実現しやすくなると思いますか？

大人

- ・ お祭りを企画する時に「子どもだからだめ」と言わずに、子どもの意見を聞く
- ・ お祭りなどのイベントの情報が、子どもに届いていないので、周知方法を考える

大人・子ども

- ・ お祭りでお店を出すために、飲食店の仕事をしたことがある人に協力してもらう
- ・ 文化祭や体育祭、オープンハイスクールなどの情報をもっと周知して、参加しやすくする
- ・ 中学生と、高校生や大学生がお互いの授業に行く機会を設ける

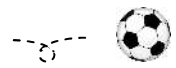
子ども

- ・ 仕事場に受け入れてもらえるように、生活態度を改める
- ・ 色々な人に仕事の体験をしたり、話を聞かせてもらったりする機会を作ってもらう
- ・ 社会見学で迷惑になる行動をしないように気をつける
- ・ 社会見学に行くには予算が必要なので、学校の光熱水費などを節約する
- ・ 大人に信用してもらえるように、子どもがやりたい「お祭りの企画」をしっかり考える

行政

- ・ 学校から、たくさんの事業所にトライやる・ウィークに協力してもらうように話をする
- ・ 学校で社会見学でどこに行ってみたいのか、子どもにアンケートをとる
- ・ 子どもは市議会や裁判を見学できることを知らないので、ポスターを作って知らせる
- ・ 学期ごとに、市内全体で同じ内容の試験を実施する

昨年度までのミーティングでも、「昔のことが知りたい」「仕事の内容が知りたい」といった意見は、小学校、中学校ともに、多く見られる傾向にあった。



小学生の意見

地域の大人に改善してもらいたいことってどんなこと？

交通ルール・マナーを守って欲しい

- ・人の家の前など、駐車禁止の場所に自動車を止めないで欲しい
- ・駐輪禁止の場所に、自転車を置かないで欲しい
- ・自転車で二人乗りをしないで欲しい

公園で楽しく遊べるようにして欲しい

- ・帰る時間が分からないので、公園に時計を設置して欲しい
- ・ボールで遊べる公園をもっと作って欲しい

大人がもっと、ルール・マナーを守って欲しい ごみや煙草の吸殻をポイ捨てしないで欲しい 不審者などの対策をして欲しい 道路を通行しやすくして欲しい

- ・夜、暗い道路に街灯を設置して欲しい
- ・道幅の狭い通学路があるので、広くして欲しい



どうすれば改善しやすくなると思いますか？

大人

- ・他人がやっても、駐車や駐輪禁止の場所に、自動車や自転車を止めない
- ・ポイ捨てしている人を見かけたら、注意する
- ・見守り隊以外の地域の人も、子どもを見守る

大人・子ども

- ・自転車の二人乗りをしないなど、運転ルール・マナーを守る
- ・まちをきれいにするイベントを実施する
- ・一人一人がポイ捨てしないように心がける

子ども

- ・自分で公園に時計を持って行く
- ・子ども自身も親の言うことを聞いて、ルール・マナーを守る
- ・ポイ捨てしないように、ポスターを作る
- ・道幅の狭い道路は、きちんと一列になって歩く

行政

- ・公園にフェンスを作り、ボール遊びができるスペースを作る
- ・帰る時間が分からないので、公園に時計を設置する
- ・ごみ箱の数を増やす
- ・暗い道路に街灯を設置して欲しいが、コールセンターには連絡しにくいので、学校で紙に書けるようにする

特に、行政に対する意見が多く、行政に改善してもらいたいという思いが伺えました。

中学生の意見



地域の大人に改善してもらいたいことってどんなこと？

ごみや煙草の吸殻のポイ捨てなどをしないで欲しい 交通ルール・マナーを守って欲しい

- ・歩いたり自動車を運転したりしながら、スマートフォンなどを使用するのはやめて欲しい
- ・駐輪禁止の場所に、自転車を置かないで欲しい
- 大人自身がルール・マナーを守れているか、自分の行動を振り返って欲しい

喫煙マナーを守って欲しい

- ・歩きながら煙草を吸うのはやめて欲しい
- 不審者対策をして欲しい
- ・見守り隊は、小学生だけでなく、中学生も見守って欲しい
- 騒音が気になるので、静かにして欲しい

どうすれば改善しやすくなると思いますか？

大人

- ・煙草の吸殻をポイ捨てしないように、携帯灰皿を持ち歩く
- ・地域の大人がボランティアグループを作り、ポイ捨てしないようにパトロールをする
- ・見守り隊などが、下校時間のパトロールを強化する
- ・騒音を立てないように、気をつける

大人・子ども

- ・町内会が清掃活動を企画し、たくさんの人が参加できるように、周知方法を工夫する
- ・歩いたり自動車を運転したりしながら、スマートフォンなどを使用しないように、気をつける
- ・大人がもっと、ルール・マナーを守るように、ポスターを貼って意識を啓発する

子ども

- ・ポイ捨てしないように、自分達も気をつける
- ・ポイ捨てしている子どもがいたら注意する
- ・不審者がいたら、メールで警察などに伝える
- ・危ない場所があれば、友達などに伝える
- ・人通りが少ないところには行かない

行政

- ・煙草の吸殻を捨てられるように、携帯灰皿を無料配布する
- ・まちなかに喫煙所を設置し、そこで煙草を吸ってもらう
- ・歩きながら煙草を吸っている人から、罰金をとる
- ・違法駐輪が多い場所には、「駐輪禁止」と書いてある障害物などを設置し、自転車を置けないようにする

昨年度までのミーティングでも、「交通ルール・マナーを守って欲しい」「まちをきれいにしたい」「治安をよくして欲しい」といった意見は、小学校、中学校ともに、多く見られる傾向にありました。

テーマ3「子ども同士の関係を、よりよくするためにできること」



小学生の意見

子ども同士の関係が「うまくいかなかったこと」ってありますか？ その理由は何ですか？

決めごとをする時に、うまくいかなかった

- ・好き勝手に意見を言うので、まとまらなかった
- グループ内で、皆となじめない人がいた
- 約束を守ってもらえなかった
- ・遊ぶ約束をしていた友達が、他の友達と遊びに行ってしまった

友達が嫌なことをしてきた

- ささいなことで友達とうまくいかなかった
- 物の取り合いをした
- そのつもりはなかったが、ケンカになった
- お互いに自分の考えを押し付け合って、関係がうまくいかなかった

子ども同士の関係が「うまくいかなかった」時に、どうすれば解決しやすくなると思いますか？

大人

- ・子どもに困っていることがないか、きちんと様子を見る
- ・子どもの気持ちは大人には分からないので、そっとしておく
- ・大人がリーダーになって一緒に話し合う

大人・子ども

- ・問題があれば、大人も交えて解決方法を考える
- ・クラスで決めごとをする時は、ルールを決める

子ども

- (自分が、うまくいっていない時)
- ・大人に相談する
- ・自分が悪いと思ったら、自分から謝る
- ・相手の気持ちを考えて接する
- (友達が、うまくいっていない時)
- ・人が嫌がることをする人には、皆で注意する

行政

- ・相談窓口を相談しやすい窓口となるよう工夫する
- ・ケンカやいじめをしないように、ポスターを作って呼びかける
- ・子ども同士の関係がうまくいかずに、困っていることはないかアンケートをとって、どんなふうに対応したらよいか教える
- ・相談ボックスを作って、先生やPTAが悩みを聞く

特に子ども自身の取組についての意見が多く、自分で解決していきたいという思いが伺えました。

中学生の意見

子ども同士の関係が「うまくいかなかったこと」ってありますか？ その理由は何ですか？

クラスの和を乱す人がいた

- ・合唱コンクールの練習で、不真面目な人がいたので手を出したら、ケンカになった
- ・クラスが一体になって取り組んでいる時に、やる気のない発言をする人がいて、クラスがバラバラになった
- ・体育祭の準備をしている時に、不真面目な人がいたため、クラスの士気が下がった

意見が食い違った

- ・意見が食い違ってケンカになった
- ささいなことで、ケンカになった
- グループのリーダーが、自己中心的で困った
- 友達をからかった
- グループ内で仲間割れをした
- 物の貸し借りでもめた

子ども同士の関係が「うまくいかなかった」時に、どうすれば解決しやすくなると思いますか？

大人

- ・被害者だけでなく、加害者の意見も聞く
- ・噂だけで判断するのではなく、事実をよく確認する
- ・人が嫌がることをしている人を見かけたら、注意する
- ・子どもだけでは解決できない時だけ、協力する
- ・大人が入ると話がややこしくなるので、見守る



大人・子ども

- ・物の貸し借りをする時は、トラブルにならないように、第三者の大人や友達が立ち会う

子ども

- (自分が、うまくいっていない時)
- ・相談する
- ・相手の好きなことや趣味を聞き、それをきっかけに色々な話をする
- (友達が、うまくいっていない時)
- ・事実が分からない噂で、友達が傷つかないように、噂が事実かきちんと確かめる

行政

- ・中学校でも授業中に、子ども同士の関係について話し合う機会を設ける

小学校と同じく、特に子ども自身の取組についての意見が多く、自分で解決していきたいという思いが伺えました。

フリートーク

小学生の意見

気づいたことなど

ルール・マナーを守って生活することが大切だと気づいた

- ・世の中には、大人も子どもも守らなければならない、色々な決まりがあると分かった
- ・大人も子どもも、ルール・マナーを守って生活することが大切だと気づいた

皆で支えあって生活していくことが大切だと気づいた

尼崎市では、まちをよくするために、色々な取組を実施していることが分かった

子ども同士の関係がうまくいかない時に、色々な解決方法があると分かった

明日からやってみようと思うこと

ごみを拾う

- ・ごみ拾いの活動に参加する
 - ・ごみを見つけたら拾う
- 自分ができることからやっていく
- ポイ捨てなどをしない
- ティーンズミーティングで学んだことについて、気をつける、注意する、改善する
- 自分から人に注意する
- ・よくない行動をしている人がいれば、自分から注意する
- ルール・マナーを守る
- 地域の行事には積極的に参加する

中学生の意見

気づいたことなど

思いやりの気持ちを持って、人と接することが大切だと気づいた

問題を解決するには、意見交換をすることが大切だと気づいた

- ・問題を解決するには、皆で話し合うことが大切だと気づいた
- ・自分の気持ちや意見をきちんと伝えることが大切だと気づいた
- ・それぞれ人には違った意見があり、どんな意見も問題解決につながると分かった

明日からやってみようと思うこと

自分ができることからやっていく

- ・今日の意見のうち、自分ができることからやっていく
 - ・自分の生活態度を見直す
 - ・ポイ捨てしないなど、身近なことから直していく
- 意見交換をもっとする
- ・ティーンズミーティングのような場を増やし、定期的に話し合いをしていく
- ティーンズミーティングで学んだことを、これからの生活に活かす
- 尼崎市がよくなるように、自分達も協力する
- 色んなところに見学に行く

ティーンズミーティングに参加した感想

小学生の感想

皆の意見を聞いてよかった

- ・皆の意見を聞いて、色々な考えがあると分かってよかった

自分の意見を言えてよかった

- ・言いたかったことを言えてよかった

楽しかった、面白かった

色々なことを知れてよかった

今までにない経験ができた

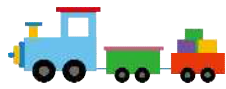
自分の発表したことが実現したらよいと思った

中学生の感想

自分の意見を言えてよかった

- ・普段言えないことを言えてよかった
- 皆の意見を聞いてよかった
- ・皆の意見を聞いて、色々な考えがあると分かってよかった
- 市役所の職員と話すことができてよかった
- 尼崎市のことを知ることができてよかった
- ・自分達が住んでいる尼崎市のことを知ることができてよかった





子どもの声 に耳を傾け

大人ができることを一緒に考えてみませんか？

ティーンズミーティングでの子どもの声を聴いて、「地域住民として何ができるのか？」を考えるワークショップを実施しています。

将来地域の担い手となる、今の子どもたちみんなが健やかに育つために、「今何ができるのか」を考えてみませんか。

*グループ単位で申込を受け付けています。詳しくは下記連絡先へ問い合わせ下さい。



「平成26年度ティーンズミーティング開催結果」の詳しい内容については、
尼崎市の「ティーンズミーティング開催事業」のホームページをご覧ください。

Amagasaki City
サイト内検索
Googleカスタム検索
コールセンター 06-6375-5639
市へのアクセス

ホーム > 暮らしの情報 > 学ぶ・あそぶ > 事業者の方へ > 市政の情報 >

現在位置: ホーム > 市が考える尼崎 > 子ども関連施策 > 尼崎市子どもの育ち支援条例 > 条例の理念実現のための取組 > ティーンズミーティング開催事業

市政の情報

- 条例の理念実現のための取組
 - ▶ 地域社会の子育て機能向上支援事業(子育てコミュニティソーシャルワーク)
 - ▶ 子ども家庭相談支援体制整備事業(スクールソーシャルワーク)
 - ▶ ティーンズミーティング開催事業

ティーンズミーティング開催事業

この事業は、条例の理念を実現していく取組の一環であり、平成23年度から複数年をかけて公立小学校・中学校の子どもを対象に、広く思いや考えを聴こうとするものです。

子ども同士の話し合いを通じて、思いや考えを聴くことにより、「子ども目線で社会はどう見えているのか。」「子ども同士の関係を子どもはどうとらえているのか。」を把握し、(1)必要に応じて、子どもの視点から見た、子どものニーズを踏まえた子ども関連事業の構築などにつなげるとともに、(2)地域住民などが、子どもの思いや考えを知ることにより、子どもの育ちに関心をもち、関わる可能性を高めることを目的としています。

平成26年度

- ▶ [平成26年度ティーンズミーティング開催結果\(PDF 228.2 KB\)](#)

ティーンズミーティング開催事業ホームページ

http://www.city.amagasaki.hyogo.jp/si_kangae/kodomo_sesaku/046kodomojourei/18842/046teens.html

尼崎市 こども青少年局 計画調整課

〒660-8501 尼崎市東七松町1丁目23番1号

電話番号 06-6489-6341

Eメール ama-kodomokeikakuchosei@city.amagasaki.hyogo.jp

ホームページ <http://www.city.amagasaki.hyogo.jp/>